



市制施行70周年 に向けて！

若林章喜 選ばれる町をつくる会

市制施行70周年を記念する事業を実施する考えは。

市長 記念式典を実施したいと考えておりますが、現時点ではどのような形にするかは決まっております。レガシーとして残るような特色のある周年事業にしていきたい。

市民と一緒に考え、つくり上げる70周年事業について、どのような実施体制を想定しているか。

政策経営部長 庁内の部署間の垣根を越えた連携体制が重要と考えています。

ふるさと納税制度を活用し、大学や学校法人との連携・支援を求める。

政策経営部長 大学等との取組を知っていただくこと、応援したいと思うてくださる方の支援を大学などへ届けることについては、どのような取組が可能か、他自治体の事例も参考に検討していきます。



ごみ資源化／ 多摩モノレール

小沢タケル(農林委員会)

ごみの減量と資源化に向けた子どもたちへの環境教育について。

循環施設担当部長 持続可能な社会の実現に向けて自ら考え、行動する力を育むため、ごみの減量や資源化について学ぶ出前講座と町田市バイオエネルギーセンターでの施設見学を実施しています。

講座や見学で学んだ子どもたちが家族の中の先生役になった。

てほしいと考えています。

多摩都市モノレール町田方面延伸事業について。

掘副市長 多摩地域の公共交通を充実させるとともに、市内の移動の利便性を高める基幹交通としての役割を担う重要な取組です。市民の皆様が安心して快適に住み続けられる町であるために、また、多くの来街者が訪れ、にぎわいと交流が生まれ続ける町であるために不可欠な事業です。



学校給食で地域 文化の継承を

岩瀬和子(選ばれる町をつくる会)

学校給食を通して地域食文化の継承を提案する。

学校教育部長 給食には、まち☆ベジをはじめ、市内業者が製造するしょうゆや食肉加工品を使用しています。各小学校や中学校給食センターでは、食育情報を見学生徒や家庭に向けて発信しています。

今後も食育の観点でも地域の食材について理解を深めてもらえる取組を行っています。

国山、図師、小山、小山ヶ丘の計17クラブです。

夏休みの児童クラブの昼食支援の充実を提案する。

子ども生活部長 26年度のモデル事業は、鶴川エリア中学校給食センターに加え、町田忠生小中学校給食センターを活用し、実施します。実施する児童保育クラブは、25年度に実施した7クラブに加え、野津田、なかよし、小山田、木曽、山崎、桜の森、七

国山、図師、小山、小山ヶ丘の計17クラブです。



ICT救急搬送 ・難病患者支援

馬部ゆきまさ(公明党)

救急搬送において、電話や手書きによる現状の救急情報伝達に課題はないのか。

市民病院事務部長 電話で聞き取った内容、救急搬送票の再確認を行っており、伝達ミスが発生する可能性は低く、現状もしっかりと受入れが行えているものと考えています。

静岡市のようなインクルーシブ雇用の推進を町田市として取り組んではどうか。

地域福祉部長 事業の内容や対象となる方など詳細を把握していませんので、しっかり情報収集に努めていきたい。

難病患者が在宅生活を継続するための住宅改善費の支給や日常生活用具の給付の活用についての市の現状は。

地域福祉部長 手帳をお持ちでない難病のある方の申請は住宅設備改善費1件、日常生活用具給付26件で支給に至らなかった件数はありません。



エアコン補助／ 遠隔手話通訳

田中みほ(日本共産党)

低所得世帯等のエアコン購入費助成事業において、購入の際に費用を最初に用意できないケースへの対応は。

地域福祉部長 手持ちのお金がない方は、立替払いではなく、助成金を店舗に振り込むことも可能です。その場合、申請者が店舗に相談いただき、市から代金を振り込むことを了承いただくことが必要です。

市の窓口での遠隔手話通訳サービスを提供することを想定しています。

通訳サービスの検討状況は。

地域福祉部長 複数の端末からアクセスがあった場合の対応や音声認識の精度、文字変換などの機能について、ヒアリングを事業者に行いながら進めているところです。

市役所本庁舎以外の地域の行政窓口での導入も想定しているか。

地域福祉部長 市庁舎以外においてもサービスを提供することを想定しています。



町田のクマ対策 備えを万全に！

おげき重太郎(農林委員会)

クマ出没時の初動対応マニュアルが必要と考えます。

環境資源部長 緊急銃猟のマニュアルについては整備する必要がありと認識しております。

関係機関と調整を進めていますが、今年度中をめどに進めています。

関係機関と連携した訓練が必要と考えますが、実施の考えはありますか。

防災安全部長 総合的な訓練については、マニュアルの完成を待って実施したい。

方6月下旬を目標に南大沢警察署と合同で、警察による熊の駆除訓練を行う予定です。

市民の安全を確保するために部署を越えた全庁的な取組が必要と考えますが、市の見解をお聞かせください。

神蔵副市長 全庁、庁内全ての部署が情報共有し、役割に基づいて連携し対応します。

に基づいて連携し対応します。



妊婦への育児支援 ／母乳バンク

イスレスつばさ(まちだみらい)

妊婦への育児支援サービスの提供についてどのような情報収集に努めているのか。

保健所長 妊婦面接の際に、支援が必要な方にはニーズに合った情報を提供し、町田市子育てハンドブック「ぶれびよ」をお渡ししています。

多胎児への育児支援サービスにはどのようなものがあるのか。

の妊婦及び多胎児とその保護者を対象にそらまめの会を実施し、実体験を聞いたり、情報交換ができ、不安を相談したり、出産後をイメージいただける機会となっています。

母乳バンクについて市の取組と広報の現状はどうなっているのか。

保健所長 妊婦面接の際、両親学級の会場のほか、健康福祉会館にチラシを設置するなど広く周知を行っています。



夏期学校プール 開放を求め！

渡辺聡太郎(選ばれる町をつくる会)

消防団員数の減少を誰が止めるのか。市は確保の責務を自覚し、取り組まなければならない。

防災安全部長 地域防災力維持に際しては深刻かつ速やかな対応を講じるべき喫緊の課題と認識しています。プレスリリースなど、これまで以上に活動を発信していきます。

また、庁内連携により、新たな取組も検討していきます。

職員をはじめ市民が理解と関与を促すことが重要です。

心を深め、新規入団者の増加及び定着率向上につなげるよう全力で努めていきます。

夏期学校プール開放事業が廃止される。条例では子供に影響を与える施策を決める際、子供の意見を聴き反映させる事が行政の責務とされている。条例に則り子供たちの意見を聞く場は設けたか。

文化スポーツ振興部長 端的に答えさせていただきます。場は設けていません。



断られないサー ビス等利用計画

今村るか(まちだみらい)

市長がインクルーシブな社会を目指す思いを伺う。

市長 心の教育を通じて、子どもたちがお互いを認め合い、他者への思いやりを大切に、様々な人と共感しながら学びを重ねることが、誰にとってもやさしいまちを実現していくために非常に重要なことだと捉えております。

障がい者総合支援法に基づきサービス利用に必要なサービス等利用計画が作成し、もらえないとの声が多い。

地域福祉部長 事業所を対象に連絡会等にて新たに開始、規模を拡大していただくようお願いをしているところですが、26年度から、相談支援力向上の研修などを開催しており、相談の効率化や計画相談件数の増加を目指していきます。

障がい者総合支援法に基づきサービス利用に必要なサービス等利用計画が作成し、もらえないとの声が多い。

地域福祉部長 事業所を対象に連絡会等にて新たに開始、規模を拡大していただくようお願いをしているところですが、26年度から、相談支援力向上の研修などを開催しており、相談の効率化や計画相談件数の増加を目指していきます。

相談の効率化や計画相談件数の増加を目指していきます。



物価高騰対策の 生活者高騰支援給付

松岡みゆき(無所属)

物価高騰対策生活者支援給付A4案内は解りづらく未申請者が多く51500世帯に再発行した。恒例の定形長3で送るべきではなかったか。

地域福祉部長 問合せは5月31日時点で2万7000件寄せられています。目立つデザインを重視し、A4サイズとしました。総括を適切に行い、事業運営へつなげていきたい。

食品ロス削減のため、

飲食店での食べ残しの持ち帰りを、どのように進めるのか。

環境資源部長 motive CO普及コンソーシアムに入会を予定しており、協力店には市が購入した環境負荷の低い持ち帰り容器を提供します。

モノレール実現に事業費抑制の忠生ルートの選定を、中心市街地・モノレール推進担当部長 十分な比較検討を行った上でルート決定に至ると考えています。



全ての子どもを 保障

笹倉みどり(まちだみらい)

「遊び」は子どもの権利。冒険遊び場事業補助金減額について市の考えは。

子ども生活部長 配置人数や開催日数など、活動団体が弾力的な運営ができるよう要件を緩和したものです。団体が継続して安定的に運営できるよう支援を行っています。

学校教育部長 26年度のポスター更新を契機に、改めてポスターのデータを送付し、啓発に活用するよう呼びかけ、各学校で対応しています。

センターの役割の方向性は。文化スポーツ振興部長 施策の方針を明確にし、市と町田国際交流センターとの間で支援体制や運営の在り方について検討を進めています。

学校 学校における香害、化学物質過敏症の周知状況は。学校教育部長 26年度のポスター更新を契機に、改めてポスターのデータを送付し、啓発に活用するよう呼びかけ、各学校で対応しています。



多文化／ 選挙啓発

前田げんき(選ばれる町をつくる会)

多文化共生の理想と現実、本市の基本姿勢について。

文化スポーツ振興部長 日本人と外国人の双方が不安なく生活できる地域社会の実現を目指していくことを基本姿勢として、外国人住民の生活実態やニーズを的確に把握し、必要な支援を効果的かつ持続的に提供していきます。

市営住宅における兄弟姉妹での同居許可要件の柔軟な運用について。

都市づくり部長 許可要件に基づき兄弟姉妹等の同居について柔軟に運用しています。

選挙管理委員長職務代理者 選挙管理委員長職務代理者として、市庁舎のホール、式LINEのほか、Xを活用した選挙啓発を行っています。

選挙管理委員長職務代理者 選挙管理委員長職務代理者として、市庁舎のホール、式LINEのほか、Xを活用した選挙啓発を行っています。

選挙管理委員長職務代理者 選挙管理委員長職務代理者として、市庁舎のホール、式LINEのほか、Xを活用した選挙啓発を行っています。

選挙管理委員長職務代理者 選挙管理委員長職務代理者として、市庁舎のホール、式LINEのほか、Xを活用した選挙啓発を行っています。

選挙管理委員長職務代理者 選挙管理委員長職務代理者として、市庁舎のホール、式LINEのほか、Xを活用した選挙啓発を行っています。